

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

# 病院組合ニュース

2017. 9. 26  
No.103

愛知県病院事業庁職員組合  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1  
愛知県東大手庁舎内  
電話(052)212-8031 FAX(フリアクス)0120-930-340  
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp  
発行責任者 権 田 行 儀

## 嚥下食メニュー コンテスト2017

### 優秀賞



海老とホタテのテリーヌ(クリスマス用)  
滝澤 幸二様(原邦彦様)

見事「優秀賞」に輝いた作品  
『海老とほたてのテリーヌ(クリスマス用)』



初めての挑戦!  
がんセンター中央病院  
滝澤 幸二さん(右)  
原 邦彦さん

# おめでとう ございます!



調理と説明



真剣勝負!

9月13日(水)に東京ビックサイトで開催された「嚥下食メニューコンテスト2017決勝審査会」に、がんセンター中央病院栄養管理科滝澤幸二調理師・原邦彦調理師の2名が参加しました。組合本部から権田執行委員長が応援に行きました。

今年のコンテストは114作品の応募があり、一次審査を通過した6作品(一般食2作品・デザート2作品・行食2作品)が決勝審査会へノミネートされました。

滝澤・原両調理師は、多数の観客の前に緊張した様子もなく、説明をしながら丁寧に調理を行っていました。調理終了後は、観客より盛大な拍手が送られていました。

審査結果では惜しくも部門大賞は取れませんでした。が、優秀賞を受賞しました。

いろいろ言われている現業職ですが、技能労務者ではなく医療技術者であることを示すために、来年も応募するように願っています。



# 全国の仲間とともに 学びふれあいました

病院組合では、全国で働く医療関係の仲間と一緒に学び、情報交換などをするため、各種集会等へ組合員の方に参加していただいています。

今年も「第44回医療研究全国集会in北海道」(6月29・30日)3名、「第35回愛知医療研究集会」(5月28日)2名「第63回日本母親大会in岩手」(8月19日)2名、「愛知母親大会」(7月23日)1名の組合員が参加しました。

## 医療研究全国集会 in北海道

「看護福祉領域のメンタルヘルス」に参加して

がんセンター中央病院

伊坪 浩幸

「うつ病」は1990年ごろから産業精神保健上の課題として浮上して2000年頃には現場で重視されるようになったそうです。2012年厚生労働省で「うつ病」の原因の一つである職場ストレス

スの第一位は「人間関係」だったそうです。

このこじれた人間関係から発症した「うつ病」

は怪我のように外から判断することができないので発見が遅れてしまいます。特に「うつ病」がパワハラによるものだと、加害者が被害者にストレスを与えていることに気が付いていないことが多く、加害者は被害者に延々



とストレスを与え続けます。こうして「うつ病」は進行していきま

す。こういったことがないように、事業者や使用者は労働基準法、労働安全衛生法、労働契約法を良く学び職員の健康を守って欲しいものです。

### 記念講演

「貧困と格差問題」に参加して

精神医療センター

安藤 京一

北海道で開催された2日間の医療研究全国集会に参加して、現在

の医療の現状や問題を改めて認識する良い機会となった。

第1日目の記念講演では「貧困と格差問題」をテーマとして藤田孝典先生(NPO法人ほつとプラス代表)の講演を聞くことができた。

その中で特に印象に残った事は日本の貧困の現状である。実に16・1%(OECD加盟国34カ国中6番目)と高い数値であった。

その中でも、下流老人(生活保護基準相当で暮らす高齢者及びその恐れがある高齢者)が22%もいると言うことであつた。私自身、数年後定年を迎え65歳になつた時、今の日本の保障制度で本当に生活ができるか・不安に感じる場面であつた。

また、貧困問題は老人だけでなく子供にも同様な現象が、ひとり親世帯の中で増加し

てきていることであつた。そのほかにも様々な現代における格差、貧困問題が現状としてあることを感じた。

### 分科会

「変革が求められる日本の精神保健医療福祉」

「患者主体の地域移行を一緒に考える」に参加して

精神医療センター

中村 正喜

今回、北海道で6月29・30日と二日間開催された。1日目は講演会で2日目は分科会に別れた。

講演会は「貧困と格差問題」医療と介護現状「脱商品化」戦略」の演題であつた。ここでは、日本の貧困問題やそこから起こる医療格差、老人や児童にまつわる総合的問題を世界と比較し論じられていた。(次ページへ)

(前ページから)  
2日目は第9分科会に参加した。

メインテーマとして「変革が求められる日本の精神保健医療福祉〜患者主体の地域移行を一緒に考える」で行なわれた。この中で第二発表者として京都府立の精神科病院がプレゼンし、そこで隔離室の写真が資料として挙げられた。

そこから日本における隔離の現状へと内容が移行。参加した各病院に隔離の現状や隔離解除までの段階をオプザーバーが質問して確認しあった。

最終的には日本は隔離数が先進国の中では多い国であること。必要のない隔離が行なわれている可能性があること、本当に必要なのかを必ず検討することが重要であることを述べられていた。

日本での隔離患者の数が先進国と比べ多いことは知識として持つ

# 日本母親大会 in 石手

## 分科会

「青い地球を守ろう

地球温暖化 今私

たちにできること

に参加して

## 精神医療センター

佐藤 沙紀

今回、この分科会に参加して、地球温暖化CO2削減というイメー

ていたが、改めて認識させられ変革が必要と実感した。

ジはあったが、具体的にどのようCO2を削減するかを考えていなかったと感じた。

ごみの処理、エネルギー政策など一つ一つは聞いたことがあるが、どちらに関してもどこか「私には関係ない」と思い、生活をしてきた。今回の問題提起・参加者の意見を聞き、今後の生活の中で何か自分にできることはなにかと考える機会となった。

電力に関しても、ごみの問題に関しても生きていく中で避けて通れない課題で、現状が最善であるとは感じないが、今、不自由でなければ良いと感じてい

た。しかし、昨今の異常気象や原発の問題を考えると、安全、安心な生活を続けるために一人ひとりが問題意識を持つことが必要だと感じた。

ごみの分別や節電など自分でできることから、自分の住む自治体のごみ処理や、発電所の稼働状況などを調べるなど、少しずつできることをやってみようと感じることができた。

## 精神医療センター

岡田 さゆり

最近集中豪雨が各地で起き、地球温暖化はますます進んでいることを身近に感じます。その原因は化石燃料の

燃焼によるCO2排出で、石炭火力発電は膨大な

CO2を排出し、有害な大気汚染物質も排出されています。

2015年12月に「パリ協定」が作られ、今世紀後半の2050年頃には温室効果ガスの排出実質ゼロを目指すと言われていたにもかかわらず、日本の成長戦略として高効率石炭火力発電が推進され、2014年の「エネルギー基本計画」で石炭がベースロード電源として位置づけられました。

これからは新しく建設した。これからは新しく建設中の石炭火力発電所が一気に稼働する予定になっています。

日本は気候変動政策2016年、61カ国中60位のワースト2で世界から厳しく問われています。逆に自然エネルギー(再生エネルギー)100%で賄っている国がすでに出てきているので、例えば快晴

の日には一生懸命電気を作り、たくさんで電気を安く国民に供給し、国民は自然エネルギーだけをこぞって買って洗濯したりするといった、作る側と使う側の協力があって成り立っていること。また、余った電力を外国へ売ってお金を作っているのだそうです。

私たち日本人もこの問題にもっと目を向け知識を増やし、一人ひとりが省エネと自然エネルギーにこだわって生活し、導入にシフトしていくことが未来の子どもたちを助けることになると思いました。



# 愛知母親大会

## 平和について 考える一日

### 精神医療センター

#### 野邊 美也子

7月23日愛知母親大会が開催されました。子供の教育・貧困、女性の権利についてのテーマの他、宇都宮弁護士による人権に関する講演会は大盛況となりました。

また在日米軍基地についての上映会等様々な催しがありました。基地問題の映画では税



金がどのように使われているか初めて知るばかりで、誰もが関わる問題であるとの認識を深め、平和について考える一日となりました。

# 2018年度病院組合役員 決まりました

## 公 示

愛病組選管公示第2017-4-2号

2017年9月29日執行の愛知県病院事業庁職員組合2018年度役員選挙は、同年9月13日に立候補の受付を締め切ったところ、各役職について候補者が定数を超えなかったことから、愛知県病院事業庁職員組合選挙および投票管理に関する規則第22条第3項の規定に基づき、次の者を無投票当選とする。

2017年9月14日

愛知県病院事業庁職員組合  
選挙管理委員会委員長 岡田 さゆり  
(公印省略)

役 職 名	氏 名	所 属
青年部長	中村仁美 (新)	がんセンター愛知病院分会
青年部副部長	岩佐恭平 (再)	精神医療センター分会
青年部事務局長	近藤雅子 (新)	がんセンター中央病院分会
青年部常任委員	内木葉月 (新)	あいち小児保健医療総合センター分会

## 公 示

愛病組選管公示第2017-4-3号

2017年9月29日執行の愛知県病院事業庁職員組合2018年度役員選挙は、同年9月13日に立候補の受付を締め切ったところ、各役職について候補者が定数を超えなかったことから、愛知県病院事業庁職員組合選挙および投票管理に関する規則第22条第3項の規定に基づき、次の者を無投票当選とする。

2017年9月14日

愛知県病院事業庁職員組合  
選挙管理委員会委員長 岡田 さゆり  
(公印省略)

役 職 名	氏 名	所 属
女性部長	野邊美也子 (再)	精神医療センター分会
女性部副部長	立川祐子 (新)	がんセンター中央病院分会
女性部事務局長	山下智子 (新)	あいち小児保健医療総合センター分会
女性部常任委員	安藤里紗 (新)	がんセンター愛知病院分会
"	河上千恵 (再)	病院事業庁本庁分会

## 公 示

愛病組選管公示第2017-4-1号

2017年9月29日執行の愛知県病院事業庁職員組合2018年度役員選挙は、同年9月13日に立候補の受付を締め切ったところ、各役職について候補者が定数を超えなかったことから、愛知県病院事業庁職員組合選挙および投票管理に関する規則第22条第3項の規定に基づき、次の者を無投票当選とする。

2017年9月14日

愛知県病院事業庁職員組合  
選挙管理委員会委員長 岡田 さゆり  
(公印省略)

役 職 名	氏 名	所 属
執行委員長	権田行儀 (再)	がんセンター中央病院分会
副執行委員長	小出博孝 (再)	精神医療センター分会
書記長	服部利恵 (新)	がんセンター愛知病院分会
執行委員	上田一郎 (再)	精神医療センター分会
"	額 額 渉 (新)	がんセンター中央病院分会
"	浅見勝巳 (新)	あいち小児保健医療総合センター分会
"	坂野未来 (新)	あいち小児保健医療総合センター分会
"	成田知己 (新)	病院事業庁本庁分会
"	浅井裕貴 (新)	がんセンター愛知病院分会
監査委員	高比良美香子 (新)	がんセンター愛知病院分会
"	田中健夫 (新)	病院事業庁本庁分会

## 公 示

愛病組選管公示第2017-4-4号

2017年9月29日執行の愛知県病院事業庁職員組合2018年度役員選挙は、同年9月13日に立候補の受付を締め切ったところ、各役職について候補者が定数を超えなかったことから、愛知県病院事業庁職員組合選挙および投票管理に関する規則第22条第3項の規定に基づき、次の者を無投票当選とする。

2017年9月14日

愛知県病院事業庁職員組合  
選挙管理委員会委員長 岡田 さゆり  
(公印省略)

役 職 名	氏 名	所 属
現業評議会議長	吉本典正 (再)	がんセンター中央病院分会
現業評議会副議長	小幡幸子 (新)	がんセンター愛知病院分会
現業評議会常任委員	原 邦 彦 (新)	がんセンター中央病院分会